

平成15年度第3回幹事会報告

平成15年10月16日
於：国立京都病院

[出席者]

出席者：事務局長（小田中徹也）、幹事（山室眞知子、山崎捷子、松本純子、林 伴子、神田智香子、増田 徹、安東正子、井澤智子）

[報告事項]

事務局（総務・会計）：(1) 会員異動：名称変更；国立大阪病院→国立病院大阪医療センター、特殊法人 科学技術振興事業団→独立行政法人 科学技術振興機構。(2) (株)サンメディアの松下、葛目両氏と小田中、総合目録編集について打ち合わせ（08/01 国立京都）。(3) CASP Japan Workshop（08/23-24 広島）の開催に当たって、中四国地区のライブラリアンを主催者HCA（Hiroshima Critical Appraisal）に紹介。小田中も出席し、ミニレクチャー。(4) 会計中間報告：順調な収支状況であるが、一部会員の会費未納についてリストが提出された。

研修部：第18回勉強会（08/13 星ヶ丘）の開催。テーマは「PowerPoint の使い方」について、参加者は24名。

第102回研修会「サマーセミナー2003」（09/05-06 京都）の開催。テーマは「患者アドボカシー」と「文献検索システムの新しい動向」。参加者は30名。また、第103回研修会の開催日程等について協議し、できる限り早く会員へ案内するよう図ることにした。その他、JMLA 近

畿地区との共催シンポジウムについては、特に報告はなかった。

会誌編集部：23巻3、4号の編集経過報告があり、3号は11月末に発行予定。9月、濱口、大橋、佐藤、春日井、森川の各氏が会誌編集部員を退任することになった。当面は、増田、井澤、藤井、福田、松尾、若杉の各氏で編集作業に当たり、早急に新部員の確保を図ることにした。また、9月21日の会誌編集会議には、事務局長の小田中と企画相談役の首藤氏が出席し、今後の編集部体制や運営方法、記事企画等について協議した。

統計調査部：会員へ調査依頼済み。10月現在の回収率は50%程度。年度末に報告書作成の予定。

目録編集部：「総合目録2003年版」発行について(株)サンメディアとの打ち合わせ結果の報告。データ整理の完了が予定されている10月末が過ぎた11月13日に、国立京都病院で目録編集会議を開くことにした。

[協議・決定事項]

(1) 平成16年度の当協議会運営、特に役員および部員等について協議した。今後の協議会活動や運営にも関わることであり、次回幹事会までに多面的に検討し、第4回幹事会で最終的な結論を出し、総会に諮ることにした。

(2) 第4回幹事会は、2004年1月22日に住友病院で開催する予定にした。